



「明日も行きたくなる学校 地域とともにある学校に」

31名の新入生、7名の転入職員を迎え入れ、新年度がスタートし、1週間が過ぎました。どの学年の様子からも、子どもたちは思い新たに生き生きと諸活動に向かっているのが感じられました。6日の始業式で3年生のK.Yさんは「部活動、生活態度、勉強の3つを頑張りたい」と述べ、2年生のO.Sさんは「勉強の改善点、1年生の手本になれるように委員会、部活動を頑張ること」を話してくれました。

布谷英司校長からは、「『明日も行きたくなる学校』、『地域とともにある学校』を目指します。みなさんも主役として、知恵と力を貸してください。」との話がありました。生徒に加え、家族の方や地域の方も足を運びたくなる学校づくりを目指すこと、そして、地域の方と一緒に活動したり、地域課題に向き合ったりすることで、未来の地域を支える人づくりを目指すことを表しています。その2つを柱に子どもたちの成長を果たせるよう教育活動をしていきたいと思ひます。また、お家の方々からも様々なご意見をいただくとともに、お力添えをいただきたいと思ひます。どうかこの1年よろしく願ひいたします。



どうかよろしく願ひします。

布谷 英司 (西明寺中より)

S.S (太田中より)

N.S (角館中より)

K.T (能代二中より)

S.K (中仙中より)

I.Y (高梨小より)

T.M (神代中より)

新年度の抱負を話す2人の様子です(左O.Sさん 右K.Yさん)

第19期生の31名が入学

7日に入学式が行われ、新たに31名を迎え入れました。新入生は、緊張の中にも声高らかに氏名点呼を行いました。新入生代表のM.Jさんは、「学業を大切にしたいこと」「一人ではできないことを力を合わせて達成すること」を述べるとともに、「無事に入学式を迎えられたことへの感謝を忘れてはいけない」と誓いのことばを述べました。不安もあるかと思ひますが、8日には新入生歓迎会で、先輩たちが委員会や部活動について説明してくれました。充実した中学校生活を送れるよう、先輩や職員が力になっていきたいと思ひます。



堂々と誓いの言葉を述べるM.Jさん